

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門) (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2156 SNMP2356 SCMP2356 SBMP2156 SPMP2156 PSMP2456
2. 授業担当教員	中土純子		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	社会福祉士の職域、福祉行政等における専門職、また民間の施設・組織における専門職等、ソーシャルワークにおける専門職の概念と範囲について諸外国の動向も踏まえ理解を深める。加えて、ソーシャルワークにおけるマイクロ・メゾ・マクロレベルの対象、それぞれのレベルにおける支援の実際と相互の連関性を学ぶ。ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援と多職種連携、チームアプローチの意義と内容について理解する。		
8. 学習目標	社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	講義内容に関する課題 (確認テスト/レポート) を複数回実施する。		
10. 教科書・参考書・教材	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版,2021 年 【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。 2. 筆記試験とレポート試験を行う。60% ○評定の方法 1. ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 2. ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。 3. 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。		
12. 受講生へのメッセージ	受講態度や姿勢、提出物に関しては、「他人に迷惑をかけない」こと「提出期限を守る」ことを求めます。講義の進捗状況・理解度により、シラバスの内容が前後する場合があります。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション シラバス、講義概要、試験・レポートについての説明等	事前学習	講義概要、シラバスについて目を通しておく。
		事後学習	「ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)」のねらいについて整理する。
第 2 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 (1) ソーシャルワーク専門職の概念と範囲について学ぶ	事前学習	テキスト p206-218 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法について学習内容を整理する。
第 3 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 (2) 社会福祉士の職域と役割について学ぶ	事前学習	テキスト p219-226 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士の専門性について整理する。
第 4 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 (3) 多様な組織・機関・団体における専門職について学ぶ	事前学習	テキスト p227-234 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	社会福祉士および精神保健福祉士の社会的位置付けについて整理する。
第 5 回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲 (4) ソーシャルワーク専門職の諸外国の動向について学ぶ	事前学習	テキスト p235-243 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	諸外国の社会制度とソーシャルワーカーの実践について整理する。
第 6 回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク (1) ソーシャルワークの対象について学ぶ	事前学習	テキスト p246-254 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークの対象についてまとめる。
第 7 回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク (2)	事前学習	テキスト p255-258 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をノートにまとめる。

	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開について学ぶ	事後学習	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義について整理する。
第8回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク(3) マイクロ・メゾ・マクロレベルでの実践の展開と考え方について学ぶ	事前学習	テキスト p258-267 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	ソーシャルワーク実践の支援について整理する。
第9回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(1) 総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点について学ぶ	事前学習	テキスト p270-276 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークにおけるジェネラリストの視点について整理する。
第10回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(2) 多機関・多職種連携・協働による包括的支援体制の構築について学ぶ	事前学習	テキスト p277-281 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	多機関・多職種による包括的支援体制の構築について整理する。
第11回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(3) 社会資源となる人や組織との協働体制について学ぶ	事前学習	テキスト p281-287 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	ソーシャルワークにおける社会資源の活用について整理する。
第12回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(4) 多職種連携およびチームアプローチの意義について学ぶ	事前学習	テキスト p289-293 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	多職種連携およびチームアプローチの意義について整理する。
第13回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(5) 多職種・多機関間の連携・協働とチームアプローチについて学ぶ	事前学習	テキスト p293-296 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	チームの機能に関するモデルを整理する。
第14回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容(6) メゾ・マクロレベルで展開するチームアプローチについて学ぶ	事前学習	テキスト p296-302 を熟読し、重要であると考える点、不明な点をまとめる。
		事後学習	問題解決に向けたクライアントとの連携・協働について整理する。
第15回	まとめ これまでの講義内容を振り返り、学習目標と照らし合わせて整理する	事前学習	これまでの学習を振り返り、疑問点をまとめる。
		事後学習	学期末試験に向け、資料の整理と学習内容の確認を行う。
期末試験			